

2022年6月30日

リコーリース株式会社

〈コード番号:8566 東証プライム市場〉

協調型サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

リコーリース株式会社(以下、当社)は、株式会社千葉銀行(本店:千葉県千葉市 取締役頭取:米本 努)と株式会社横浜銀行(本店:神奈川県横浜市 代表取締役頭取:片岡 達也)の間で、サステナビリティ・リンク・ローン(以下、本ローン)の融資契約を本日締結しましたので、お知らせいたします。

本ローンは、当社のサステナビリティ中期経営計画と整合した目標値として、サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下、「SPTs」)を設定し、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進することを目指すものです。本ローンは、株式会社日本格付研究所(本社:東京都中央区 代表取締役社長:高木 祥吉)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠性、設定した KPI と SPTs の合理性について第三者意見(※1)を取得しております。

当社は、2020 年度より開始した中期経営計画において、中長期ビジョンとして掲げる『循環創造企業へ』の実現に向け、サステナブルな社会を目指すための取り組みを推進しています。取り組みの中で、「クリーンな地球環境をつくる」ことをマテリアリティの一つとし、再生可能エネルギーの普及など事業を通じた地球環境への貢献とともに、事業活動による CO₂ 排出削減として、2030 年までに CO₂ 排出量 63%削減(2015 年度比)、2050 年にはゼロとする中長期目標を掲げています。

当社は、本ローンを活用し今後も、SDGs の目標達成のための取り組みをより一層強化し、企業価値の向上に努めてまいります。

なお、当社のマテリアリティや価値創造に向けた取り組みは、『リコーリース統合報告書 2021』(https://www.r-lease.co.jp/sustainability/integrated_report/)をご参照ください。

【サステナビリティ・リンク・ローン概要】

借入金融機関	千葉銀行、横浜銀行(各行個別契約による協調融資)
実行日	2022年6月30日(木)
SPTs	① 二酸化炭素排出量(スコープ 1、2)を、2022 年度に 773.8 トン、2023 年度に 728.4 トン、2024 年度に 683.0 トン、2025 年度に 637.6 トン以下とすること ② CDP(※2)気候変動スコアにおいてリーダーシップレベルを維持すること
第三者意見	株式会社日本格付研究所
資金使途	運転資金
借入形態	証書貸付

※1 株式会社日本格付研究所のウェブサイト(<https://www.jcr.co.jp/>)をご参照ください。

※2 世界の主要企業や都市を対象に「気候変動」「水」「森林」に関する質問状を送付し、温室効果ガスの排出や気候変動による事業リスク・機会などの情報開示を求め、その回答をもとに評価・公表している NGO です。評価は、A と A- (リーダーシップレベル)、B と B- (マネジメントレベル)、C と C- (認識レベル)、D と D- (情報開示レベル) の 8 段階で付与されます。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

リコーリース株式会社 経営企画部 TEL:050-1702-4203(直通) Email:ir@rle.ricoh.co.jp